

【松伏町】
ネットワーク整備計画

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査（令和5年11月実施）の結果では、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」（文部科学省・令和6年4月）を超える学校はありませんでした（0％）。一方、全ての学校で「学校のネットワークが遅い・つながりにくいと感じる」ことは「たまにある」程度であり、オンラインによる学習活動に概ね支障は出ていないことから、直ちに対応が必要な状況にはありません。

2 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

各学校における課題については、原因が既に特定されています。ついでには、外部機関及び事業者によるネットワークアセスメントを行う予定はありません。

（2）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

令和8年度からGIGA第2期の端末を使用することを踏まえ、個別の学校及び教室の状況をみながら、令和9年度を目安に改善することを目指します。

（3）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

GIGA第1期の状況から、令和2年度に整備した各教室のWi-Fiアクセスポイントの規格及び性能が不十分であるために、Wi-Fiアクセスポイントと端末間の通信がボトルネックであると推定されています。既に整備から5年以上の期間が経過すること、GIGA第2期の端末がWi-Fi6対応になること等の状況を踏まえ、負荷の大きい教室から優先してWi-Fi6対応アクセスポイントへの更新を行います。また、デジタル教科書の利用等による必要帯域の増加に備え、令和12年度までに全てのアクセスポイントの更新を目指します。